

(様式-1)

栃木県公共事業事前評価・自己評価書 [県土整備部 道路事業]

1/2

事業概要調書											
1 事業名	快適な道づくり事業										
2 事業箇所	一般県道 ^{にしだいにのみや} 西田井二宮線 真岡市 ^{いしじま} 石島工区										
3 事業の概要	(1)事業目的 <p>一般県道西田井二宮線は、旧二宮町と旧真岡市を結び、地域の生活を支える等、真岡市南東部の骨格となる道路である。 しかしながら、旧二宮町域内の本路線は、幅員狭小で屈曲が著しいため、安全で円滑な交通に支障をきたしている。また、計画線沿線には、近年、大和田工業団地が開発され、アクセス道路も兼ねた安全で快適なネットワーク道路の整備が望まれている。 そこで、市民の生活向上や工業団地の物流強化及び地域間の交流促進を図ることを目的とし、本路線のバイパス整備を行うものである。</p>										
	(2)計画概要 <p>【計画の考え方】 ・現道は幅員狭小で屈曲が著しい道路線形となっており、沿線には人家が連担し、拡幅が困難であることから、現道部を迂回するバイパス道路を計画とした。 また、真岡鐵道との交差点については、周辺の土地利用を踏まえ、平面交差の計画とした。</p> <table border="1"> <tr> <td>全体延長 : 約 1,600m</td> <td>現況交通量 (H17年) : 1,523 台/日</td> </tr> <tr> <td>道路幅員 : 15.0m</td> <td>計画交通量 (H42年) : 4,300 台/日 (BP)</td> </tr> <tr> <td>車線数 : 2車線</td> <td>設計速度 : 50km/h</td> </tr> <tr> <td>道路区分 : 3種2級</td> <td>構造物等 : 橋梁 1橋</td> </tr> <tr> <td></td> <td>: 平面踏切 1箇所</td> </tr> </table>	全体延長 : 約 1,600m	現況交通量 (H17年) : 1,523 台/日	道路幅員 : 15.0m	計画交通量 (H42年) : 4,300 台/日 (BP)	車線数 : 2車線	設計速度 : 50km/h	道路区分 : 3種2級	構造物等 : 橋梁 1橋		: 平面踏切 1箇所
	全体延長 : 約 1,600m	現況交通量 (H17年) : 1,523 台/日									
	道路幅員 : 15.0m	計画交通量 (H42年) : 4,300 台/日 (BP)									
	車線数 : 2車線	設計速度 : 50km/h									
道路区分 : 3種2級	構造物等 : 橋梁 1橋										
	: 平面踏切 1箇所										
(3)事業予定期間	<table border="1"> <thead> <tr> <th>期 間</th> <th>事 業 内 容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成 24 年度～平成 26 年度</td> <td>調査、用地取得</td> </tr> <tr> <td>平成 26 年度～平成 31 年度</td> <td>工事実施</td> </tr> </tbody> </table>	期 間	事 業 内 容	平成 24 年度～平成 26 年度	調査、用地取得	平成 26 年度～平成 31 年度	工事実施				
期 間	事 業 内 容										
平成 24 年度～平成 26 年度	調査、用地取得										
平成 26 年度～平成 31 年度	工事実施										
(4)事業費及び内訳	<table border="1"> <tr> <td>事業費</td> <td>約 14 億円</td> </tr> <tr> <td>事業費内訳</td> <td> 工事費 : 約 8.4 億円 用地補償費 : 約 4.6 億円 測量設計費 : 約 1.0 億円 </td> </tr> <tr> <td>財源内訳</td> <td>国費 : 55%、県費 : 45%</td> </tr> </table>	事業費	約 14 億円	事業費内訳	工事費 : 約 8.4 億円 用地補償費 : 約 4.6 億円 測量設計費 : 約 1.0 億円	財源内訳	国費 : 55%、県費 : 45%				
事業費	約 14 億円										
事業費内訳	工事費 : 約 8.4 億円 用地補償費 : 約 4.6 億円 測量設計費 : 約 1.0 億円										
財源内訳	国費 : 55%、県費 : 45%										
(5)事業発案の経緯・背景	<p>1 事業化に必要な真岡鐵道との交差形式の協議が平成23年1月に平面交差で合意形成が図れた。 2 真岡市からの早期整備の要望がある。</p>										
4 県計画への位置付け	<p>栃木県の道路・交通分野の将来構想である「人にやさしい県土60分構想」に基づき、都市内における拠点を結ぶとともに地域の生活を支える安全で快適な道路づくりを目指す。</p>										
5 他計画・他事業との関連	<ul style="list-style-type: none"> ・県営畑地帯総合整備事業（県事業）（以下：畑総事業） ・安全な川づくり事業 二宮遊水地（県事業）（以下：遊水地事業） 										
所轄部課名	県土整備部 道路整備課										

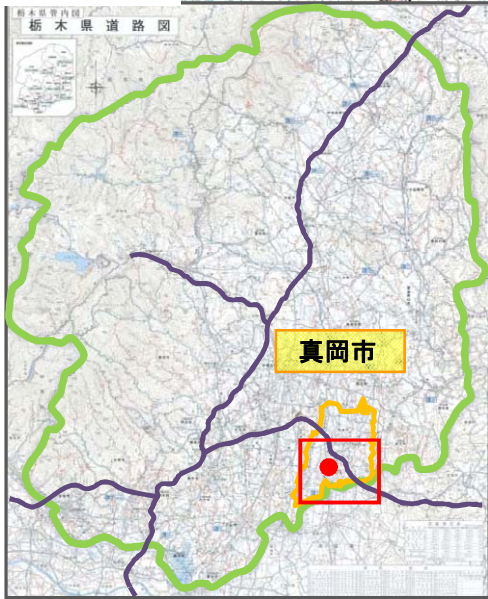
別添図面・・・事業位置図

事業評価調書	
事業名	快適な道づくり事業
1 事業の必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・合併市町間を結ぶ重要な路線であるが、現道部は幅員狭小で屈曲が著しく、安全で円滑な交通に支障をきたしていることから、市民の生活向上や地域間の交流促進を図るため整備が必要である。 ・計画線沿線には、近年、大和田工業団地が開発され、アクセス道路も兼ねた安全で快適なネットワーク道路の整備が望まれていることから、工業団地の支援を図るため整備が必要である。
2 事業の適時性	<ul style="list-style-type: none"> ・真岡鐵道と交差形式について協議を進めてきたが、平成23年1月に平面交差形式で合意が得られた。 ・畑総事業が平成24年度に工事着手を予定しており、畑の区画整理と合わせて、道路用地を確保する必要がある。 ・遊水地事業が平成23年度に本バイパス北側の完成を予定しており、これとバイパス南側の遊水地を繋ぐ横断施設について工事調整する必要がある。
3 事業の適地性	<ul style="list-style-type: none"> ・現道沿線には人家が連担し、拡幅が困難であることから、現道部を迂回するバイパス道路を計画とした。 ・関連する畑総事業・遊水地事業に合わせて道路用地を確保することで、事業効率を高めた。
4 事業手法の適切性(県が事業主体となる理由等)	一般県道西田井二宮線の道路管理者である県が事業を実施する。
5 事業により予想される効果及び影響	<ul style="list-style-type: none"> ○経済効果 <ul style="list-style-type: none"> ・費用便益比(B/C) 1.5 ・総便益(B) 17.2億円 <ul style="list-style-type: none"> ※ 総便益は、供用後50年間の効果を金銭に換算したもので、走行時間短縮、走行経費減少、交通事故減少効果等の合計である。 ・費用(C) 11.4億円 <ul style="list-style-type: none"> ※ 費用は、建設費に供用後50年間の維持管理費を加算している。 ○生活改善 <ul style="list-style-type: none"> バイパスを整備することにより、安全で円滑な交通が確保され、市民の生活向上や地域間の交流促進が図れる。 ○生活圏の活性化 <ul style="list-style-type: none"> 真岡市東西地域の連携が強化され、地域間交流の活性化が図れる。 ○経済支援 <ul style="list-style-type: none"> 市道を介して工業団地へのアクセス強化が図れる。 ○環境改善 <ul style="list-style-type: none"> 円滑な交通を確保することにより、温室効果ガスや大気汚染物質の排出が軽減され、沿道の環境を改善することができる。
6 事業コスト縮減等の可能性	・公共工事コスト縮減行動計画2010(平成22年7月栃木県)に基づき、設計・施工各段階においてコスト縮減を検討する。

一般県道 西田井二宮線 位置図 S=1:50,000



【位置図】



茨城県

凡例	
事業箇所	——
現道	——

【標準横断図】

